

外来担当表

外来窓口	科名	時間	月	火	水	木	金
13 外科	外科	午前	岡 一斉	須藤学拓	須藤学拓	尼崎陽太郎	岡 一斉
	消化器外科		深光 岳	田浦洋平	佐野史歩	深光 岳	田浦洋平
	呼吸器外科		佐野史歩	尼崎陽太郎			
	乳腺外科	午前・午後	深光 岳			深光 岳	

※外来担当表は、予告なく変更される場合がございます。来院前に必ずお電話でご確認ください。
※休診予定については、お電話にてご確認ください。連絡先:083-262-2300 (代表)



Doctors File 2



外科
ONE
TEAM

Doctors File 2

山口県済生会下関総合病院の広報誌

2021年9月10日発行 発行者:病院長 森 健治 編集:広報委員会 〒759-6603 下関市安岡町8丁目5番1号 TEL:083-262-2300 FAX:083-262-2301

最新の外来診療表がホームページで確認できます <https://www.simo.saiseikai.or.jp/>



Oka Kazuhito

外科で行う 腹腔鏡手術

低侵襲性について

腹腔鏡手術は小さなキズでお腹の臓器が大気にさらされることなく手術が遂行可能です。これが腹腔鏡手術の大きなメリットである低侵襲性につながります。具体的には痛みが少なく、術後の回復が早く、入院期間が短く、合併症が少ないことが挙げられます。ご高齢の方や合併症を有する方にとっても負担が少なく、山口県のような日本国内でも最も高齢化が進んだ地域にとっては不可欠な技術です。

腹腔鏡手術のデメリット

手の触覚が使えず、平面(2D)の映像を見ながら奥行きのある(3D)手術操作をしなければならないため、安定した手術を行うには一定の訓練が必要です。日本には腹腔鏡手術の技量を担保する技術認定制度があります。

技術認定制度

わが国には日本内視鏡外科学会が主導する技術認定制度があります。すなわち、「内視鏡手術に携わる医師の技術を高い基準に従って評価し、後進を指導するにたる所定の基準を満たしたものを認定する」ものです。当科では技術認定を受けた医師が在籍しています。

対象疾患

胆石・胆嚢炎、虫垂炎、ヘルニアなどの良性疾患をはじめ、食道癌、胃癌、大腸癌で腹腔鏡手術を行っています。高難度な肝臓癌、胆道癌、膵臓癌は従来通り開腹手術で行っています。

‘単孔式’腹腔鏡手術

腹腔鏡手術の中でもキズを一か所に集約させた手術です。おへそに1か所の2.5-3cmの皮膚切開で、同部に3本のトロッカーを挿入して行います。整容性(キズを目立たなくさせる)に特化した腹腔鏡手術といえます。主に、胆石症と急性虫垂炎の手術で行います。



最後に

手術器械の進歩とともに、外科手術の進歩はめざましいものがあります。患者さんにより良い手術が提供できるようわれわれ外科医も日々研鑽を積んで参ります。

乳腺良性疾患から 乳癌の診断、治療 そして、遺伝子検査まで

乳腺疾患は他の外科とは異なり、内科と外科の区別はなく、乳腺外科医が初診から関わるようになります。当院での乳腺診療は初診からすべて乳腺専門医が担当しており、マンモグラフィ、乳腺超音波検査の後、必要あれば針生検まで初診時に行います。ER、PgR、HER2といった乳癌治療には欠かせない免疫染色も院内で施行しているため、生検後1週間で大まかな治療方針が決定し、スピーディーな治療を行うことが可能です。



また温存乳房に対する放射線治療や当院形成外科と連携した乳房再建まで乳腺疾患については当院で一貫して完結することが可能です。特に乳房再建については形成外科医が必要ですので、乳房再建を考えている患者様は乳癌治療前からの相談も可能です。さらに当院には山口県内で2名のみの「乳がん看護認定看護師」がおり、乳腺外来に専属しておりますので、術前から術後まできめ細やかな対応を行っております(2020年12月現在)。外来から認定看護師が関わることは、入院後や術後の外来時に大きな安心感となり、患者様から大変喜ばれております。

遺伝性乳癌卵巣癌症候群の検査、 遺伝子カウンセリング

遺伝性乳癌卵巣癌症候群(HBOC)は患者様のみならず、血縁者まで関与する非常に重要な疾患です。当院は下関地区では唯一の遺伝性乳癌卵巣癌総合診療協力施設であり、山口大学と連携してHBOCの診断、サーベイランスを行うことが可能です。若年の患者様、乳癌や卵巣癌の家族歴がある患者様に対してHBOCの説明を行い、希望者には遺伝子検査を行っています。当院には県内2人しかいない「認定遺伝カウンセラー」がおり、遺伝子変異の確認された患者様には遺伝子カウンセリングも行っております(2021年4月現在)。HBOCは乳癌のみならず、婦人科による卵巣癌のサーベイランスも必要ですので、当院婦人科とも綿密な連携を行っております。



Fukamitsu Gaku



当院は乳腺専門医、乳がん看護認定看護師、認定遺伝カウンセラーがおり、婦人科や放射線科、形成外科といった乳癌診療に必要な診療科及び人材がすべてそろっております。

また当院は下関医療圏における「地域がん診療連携拠点病院」でもありますので、乳癌診療については山口県内でも1,2を争う施設、人材ともに充実した病院と自負しております。良性悪性を問わず、また検診についても、乳腺に関わることでございましたらいつでもご相談をいただけたらと思います。



はじめに

消化器・一般外科では食道、胃、大腸などの消化管および肝、胆、膵疾患に対する外科的治療を幅広く行っております。消化管の領域では腹腔鏡手術を標準治療と位置付けて診療を行っております。

腹腔鏡手術とは

わが国では1990年に導入されて以来、その低侵襲性からこの30年で急速に普及しています。それ以前の開腹手術は文字通り20cm前後の皮膚切開でお腹を開けて、術者の目と手を使って行う手術でした。一方、腹腔鏡手術は径5-12mmのトロッカーと呼ばれる筒をお腹に数本(通常5本)差し込んで行います。筒を通して内視鏡(カメラ)や電気メスなどの手術器械を挿入して、お腹の中の様子をテレビモニター越しに観察しながら行う手術です。





須藤 学拓

Sudo Manabu

外科科長

【出身大学】

山口大学(平成9年)

【専門領域】

呼吸器外科、一般外科

【資格】

日本外科学会認定医・専門医・指導医

日本がん治療認定医機構認定医

呼吸器外科専門医認定機構専門医

呼吸器外科を中心に
下関の医療へ
貢献できよう
努力をします。



佐野 史歩

Sano Fumiho

【出身大学】

山口大学(平成11年)

【専門領域】

呼吸器外科、外科全般

【資格】

日本外科学会外科専門医

日本がん治療認定医機構認定医

呼吸器外科専門医認定機構専門医

気管支鏡専門医

診断が治療、終極
の目標。一貫して
ゴールを掲げて診療に参
ります！



岡 一斉

Oka Kazuhito

消化器外科科長

【出身大学】

山口大学(平成15年)

【専門領域】

消化器、一般外科

【資格】

日本外科学会専門医

日本消化器外科専門医・指導医

日本内視鏡外科学会技術認定医

日本がん治療認定医機構認定医

全身全霊をかけて
最高の手術を
提供します。



深光 岳

Fukamitsu Gaku

【出身大学】

山口大学(平成19年)

【専門領域】

外科、乳腺外科

【資格】

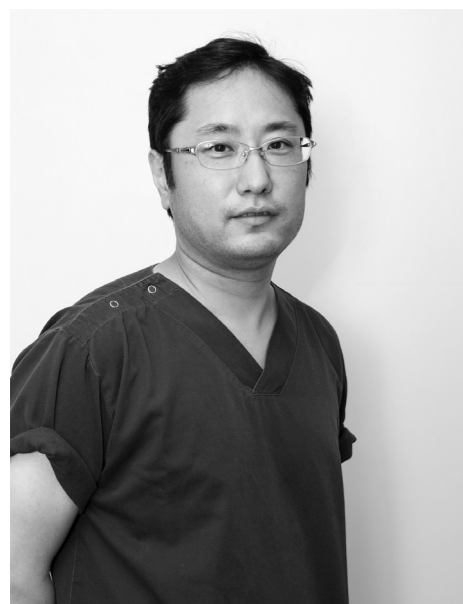
日本外科学会専門医

検診マンモグラフィ読影認定医

日本乳癌学会乳腺専門医

日本乳癌学会評議員

乳腺疾患に
ついては
何でも御相談
が願ひいたします。



尼崎 陽太郎

Amasaki Yotaro

【出身大学】

久留米大学(平成18年)

【専門領域】

消化器外科

【資格】

日本外科学会専門医

検診マンモグラフィ読影認定医

患者さんに安心して
治療を受けていただけるよう
十分な説明と対話を
心がけています。



田浦 洋平

Taura Yohei

【出身大学】

山口大学(平成20年)

【専門領域】

消化器外科

【資格】

日本外科学会専門医

安全で質の高い医療を
常に心がけています。
消化器全般、御紹介
宜しくお願ひ致します。